

中国における新型インフルエンザの状況について

1 中国国内の疫病情報(5月31日現在情報)

(1) 大陸部

	地区	確認症例数	備考
1	四川省	1	退院
2	山東省	1	退院
3	広東省	6	国内初の2次感染1例を含む
4	北京市	5	
5	福建省	2	
6	浙江省	1	
7	上海市	4	
8	湖南省	1	
	合計	21	

出所:上海総領事館

(2) 香港・マカオ・台湾

	確認症例数	疑い症例数
香港	7	0
マカオ	0	1
台湾	6	0
合計	13	1

出所:各新聞報道

2 医療対応(上海市)

- 上海市衛生局は上海市における医療機構に対する国家法定休日の端午節の休暇について通知を出す。各医療機構は5月28日～30日まで休んで、5月31日に正常に業務を回復する。祝日の期間中救急診察室は24時間中開放し、上海市内で発熱診察部門を設立した医療機構は、発熱診察を24時間開放する。(出所:新聞晨报 5.20)
- 上海市は新型インフルエンザの疫病が発生した以来、上海市公共衛生公益電話の12320を24時間の対応を実施し、データベースに新型インフルエンザの関連内容を増加し、市民の諮問に対応する。また、発熱症状がある感染者との接触者なども当窓口を利用して申告することができる。(出所:上海 文広新聞メディア 5.5)
- 上海市衛生局は復旦大学附属公共衛生センター、復旦大学附属小児科病院を新型インフルエンザの診察医療機構とし、同時に31箇所の新型インフルエンザの検査測定スポットとして指定する。コミュニティ衛生サービスセンターを含めて136箇所の衛生機構に発熱診察室を設立する。(出所:新聞晩報 5.12)
- 衛生部の関連規定によって上海市は東方病院、上海市第四病院等を代表とする13箇所のインフルエンザ検査測定指定病院と楊浦疫病コントロールセンターを代表とする4箇所のインフルエンザ実験室を増加して指定する。(文匯報 5.25)

3 市民への呼びかけ(上海市)

- ・ 近日、上海市の衛生、愛衛、疫病コントロール、健康教育機構は新型インフルエンザの予防についての

健康教育を積極的に展開している。市民に健康教育宣伝資料を 125 万部配る、ポストを 5 万部貼るほか、12320 公共衛生公益電話の 24 時間運営し、市民の諮問を受け、市民向けに健康の提示ショットメールを 30 万部送る。また、新型インフルエンザの予防についての健康教育宣伝ビデオを作り、上海市内の公共バス、タクシー、地下鉄等 32,000 台の東京タワー移動テレビで毎日数十回放送し、同時にテレビ、ラジオ、新聞、ネット等の手段を利用し健康の教育を行い、その効果は明らかである。上海市愛衛弁公室、市健康教育所が提携し行った調査によると 85.7%の市民は新型インフルエンザについて了解しており、落ち着いている。(出所:上海市衛生局 5.8)

- ・ 上海市で第1例の新型インフルエンザの疑い症例が発生する。専門家は市民に緊張恐怖することはなく、予防対策をちゃんとすることを呼びかける。

4 交通関係の対応

- ・ 全国鉄道旅客運送駅には今日から健康注意を実施する。

鉄道部コントロール事務室により、5月18日から、全国鉄道旅客運送駅、旅客運送列車では全部発車また途中で旅行健康注意を実施する。

- ・ 鉄道部コントロール担当者により、党中央、国務院が科学的に効果的新型インフルエンザ(H1N1)の予防を手配して以来、鉄道部門は 24 時間当番制を始め、特に出入国旅客、列車の予防コントロールと予防物質の運送をよく注意する。出入国旅客の体温検査と健康カードの書き込みは既に開始し、出入国列車の消毒も強めた。また、防疫と乗務員へのトレーニングを手配し、有効的な鉄道陸地の聯合予防聯合コントロール制度を設置した。旅客運送駅、列車でルールの通り予防用品を置いた。駅と列車のスタッフに発熱の報告旅客を予防コントロール予定案に従って、指定地点で体温検査を受けさせ、病歴と関係情報を聞き取れ、早速病気コントロール部門に報告する同時に、登記と消毒応急措置をする。今日から全鉄道旅客運送駅、列車で健康注意を実施するのは、鉄道予防コントロール事業のもうひとつの措置である。

昨日、鉄道部はまた「鉄道新型インフルエンザ(H1N1)の予防コントロールを更にするることについてのお知らせ」を発表して、駅列車健康注意の実施を手配し、再び自ら発熱報告をする旅客への応対措置を強調した。その他、自分が国家あるいは地方政府衛生部門が探している新型インフルエンザ(H1N1)と接触した旅客であると報告した旅客への対応の手順を細分化した。

(出所:中華人民共和国鉄道部 5.19)

以上

○「中国各地、厳密な対策を実施」

新型インフルエンザの感染拡大を防ぐため、中国各地では、厳密な対策を実施している。

- ・ 山東省の交通当局は、ふ頭や長距離バスのターミナルなどの管理者に対し、仮設の隔離施設を設置するよう要求している。
- ・ 安徽省では、ウイルスの侵入を全力で防ぐとともに、万一の場合に備え、物資の備蓄や医師の訓練、緊急対策案の作成などを急いでいる。
- ・ 遼寧省の瀋陽市では、発熱した人がいれば、病院に行く前に 100 余りの住宅団地にある医療センターで検査を受けさせるようにしている。
- ・ 南京市教育局は、「A 型インフルエンザ(H1N1)とその他の伝染病予防に関するマニュアル」を作り、市内の全ての幼稚園や小中学校に配っているという。
- ・ 中国鉄道部(省)は 18 日、全国の駅に新型インフルエンザ感染防止を促す掲示板を設置することを決定した。それによると、出入国者への体温測定と健康質問書の記入を要求するほか、全国の駅では発熱した乗客と同乗者の住所、氏名、連絡先などを記録する制度が実施されている。